

平成 22 年第3回（3月）庄原市議会定例会

一般質問通告者 及 び 質 問 事 項

質 問 順 位

【代表質問】

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 清 政 会
(垣 内 秀 孝) | 2. 野 の 風
(和 田 満 福) |
| 3. 市 民 の 会
(福 山 権 二) | 4. 日 本 共 産 党
(谷 口 隆 明) |

【個人質問】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 横 路 政 之 | 2. 坂 本 義 明 |
| 3. 藤 木 邦 明 | 4. 田 中 五 郎 |
| 5. 徳 永 泰 臣 | 6. 赤 木 忠 德 |
| 7. 小 谷 鶴 義 | 8. 名 越 峯 壽 |
| 9. 岡 村 信 吉 | 10. 林 高 正 |

広島県庄原市議会

平成22年3月定例会 一般質問【代表質問】

順位	会派名 (質問議員)	項目	ページ
1	清政会 (垣内 秀孝)	政権交代（国、県）による政策について ～大きな環境変化があるか～	1
		財政の健全化策について	2
		農林業の振興について	3
		道路整備に係る観光振興及び企業誘致について	4
		教育等の拡充について	4
2	野の風 (和田 満福)	政権交代による庄原市への影響について	5
		げんきとやすらぎのさとやま文化都市を実現するため	6
3	市民の会 (福山 権二)	行政運営の基本理念について	9
		情報公開について	9
4	日本共産党 (谷口 隆明)	新年度予算・施政方針について	10
		行政財産の貸し出しについて	11
		地産地消、学校給食について	12
		全国学力調査の問題	12

【個人質問】

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	横路 政之	介護保険事業計画の推進状況の確認と推進について	13
		介護サービスの充実について	14
		介護事業者の駐車スペース確保について	14
		認知症を予防し、また介護予防で元気な高齢者をつくるための施策について	14
		介護家族や高齢者世帯等に対する相談体制について	15
		在宅介護環境整備について	15
		要介護認定のあり方について	16
		女性のがん対策について	17

順位	質問議員	質問項目	ページ
2	坂本 義明	保育行政の現状と将来についての方針	18
		観光行政の将来について	18
3	藤木 邦明	庄原保育所の建て替えについて	19
		庄原保育所などの運営を民営化しようとしていることについて	20
		薪ストーブ購入への助成金について	21
4	田中 五郎	協働によるまちづくりについて	22
5	徳永 泰臣	農産物の販売支援について	23
		産直市八木店の今後の展開について	23
		主要地方道西城比和線の改良促進について	24
6	赤木 忠徳	木材一環システムを構築し、地域経済活性化と雇用促進をめざして	25
7	小谷 鶴義	地域振興基金の使い方	26
8	名越 峯壽	国際交流について	27
		庄原さとやま博について	27
9	岡村 信吉	木質バイオマス関連事業について	28
10	林 高正	庄原市住宅基本計画について	29
		庄原さとやま博について	30

※一般質問日程（予定）

3月16日（火） 代表質問

3月17日（火） 個人質問（1～5番）

3月18日（火） 個人質問（6～10番）

【代表質問】

順位	1	会派名	清 政 会	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
1. 政権交代 (国・県)による 政策について ～大きな環境 変化があるか ～	<p>昨年の総選挙の結果により、戦後初の政権交代があった。</p> <p>既に6ヶ月が過ぎ、新年度施策等が提示されている。また、広島県知事も交代されている。</p> <p>(1) 政権交代によるマニフェスト（政権公約）での施策変更や新しいシステムづくり等がある。これらを受けて市政に対する市長の認識と考えを伺う。</p> <p>(2) 地域主権の確立に向けた取り組みについてみれば、社会資本整備について、これまでの個別補助金廃止による社会資本整備総合交付金を創設等、地方主権での事業展開が可となっているが、地方自治体の運営が容易になるか。</p>				市 長

【代表質問】

順位	1	会派名	清 政 会	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
2. 財政の健全化策について	<p>国の財政も危機的な状況の中にある。また地方自治体は借金（地方債）の大返済時代を迎えている。</p> <p>北海道夕張市の財政破綻等をきっかけに、自治体財政健全化法が昨年4月から施行された。</p> <p>本市も財政健全化を推進（借金返済）しながら、長期総合計画の後期計画を策定し、事業を実施しようとしている。</p> <p>(1) 市政運営に当たられる市長の基本姿勢と決意を改めて伺う。</p> <p>(2) 国、県で、いわゆるむだを省くサービスと事業仕分けが実施された。どのように受けとめたか、所見を伺う。</p> <p>また、本市でこのような手法を取り入れる考えはあるか。</p> <p>(3) 行財政運営の情報公開の一環として、わかりやすい市政要覧や予算ダイジェスト版など発行の考えはないか。</p>				市 長

【代表質問】

順位	1	会派名	垣内 秀孝	質問者	垣内 秀孝	
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者	
3. 農林業の振興について	<p>広大な農用地や林地を有する本市は、農林業が最大の産業だ。</p> <p>また、農業振興地域であり、加えて林業振興でも、人工林保有も県下一だ。</p> <p>農林振興の具体化策について伺う。</p> <p>(1) 農業振興</p> <p>関係組織（行政・JA・農家団体等）の共通認識のもとに庄原市の「新農業振興計画」を策定すると同時に、農業振興大会を開催し、振興促進を図る考えはあるか。</p> <p>(2) 林業振興</p> <p>広島県の森づくり事業の効果的な活用事業の周知徹底・啓発。併せて普及活動を関係団体と共に積極的に取り組まれる考えは。</p> <p>(3) 農林振興公社の活用</p> <p>作業委託、農産物販売等に加えて、ソフト面の充実強化策として公社の職員を強化し、作目（野菜等換金作物）の試験圃場を設定する考えは。</p>				市長	

【代表質問】

順位	1	会派名	清 政 会	質問者	垣内 秀孝
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
4. 道路整備に係る観光振興、企業誘致について	(1) 中国横断自動車道尾道松江線も、本年中には部分開通する見込みだ。関係機関に強力に働きかけ、早期に改良促進されたい。あわせて、国・県道はもちろん、市道改良・整備の考えを伺いたい。 (2) 道路改良等により広域的観光交流が可能となる。本市の観光資源を生かした推進計画の策定と、グリーン・ツーリズムの定着化で農村活力を推進する考えはないか。 (3) 企業誘致と定住促進をどのように展開していくこうとしているのか。				市長
5. 教育等の拡充について	教育基本法は平成18(2006)年12月全面改正された。「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」とし、地域ぐるみでの学校支援を挙げ、また、社会総がかりになる地域住民のボランティア活動をも活用した学校の支援を展開され始めた。 本市でも関係機関（行政、教育委員会、教師、保護者、住民組織）の共通認識のもとで庄原教育構想を策定し、魅力ある教育の実現にどのように取り組もうとしているのか。 あわせて、幼児教育の充実、強化等はどうするのか。所見と基本姿勢を伺う。				教育長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
1. 政権交代による庄原市への影響について	<p>昨年夏の衆議院議員選挙において、民主党圧勝、自民党大敗という結果となり、民主党、社民党、国民新党の連立政権が樹立された。</p> <p>今月中には新しい政策のマニフェスト実現のために国の平成22年度予算が成立する見通しだ。</p> <p>この政権交代により事業の見直しを迫られるものがあるか。</p> <p>また、庄原市として新政権に望むことは何か。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
2. げんきとやすらぎのさとやま文化都市を実現するために	<p>会派「野の風」では、平成22年度予算編成時に9項目について要望をしている。それらをどのように反映し、または施策を考えたのか。十分に精査、検討され予算化されていると思うが、項目を絞って次の点について伺う。</p> <p>(1) 農業振興</p> <p>がんばる農業支援事業（生産性の高い作物や特産品開発、農林振興公社など）を拡充する具体策をどう考えているか。</p> <p>有害鳥獣対策の拡充が求められている。どのように進めていくのか。また県立大学との連携（研究依頼など）を検討したか。</p> <p>(2) 働く場所の確保</p> <p>積極的に企業訪問を行い、優良企業を工業団地などへ誘致するための施策を考えているか。</p> <p>地場産業育成のため、収集した情報の提供や補助金などの支援の具体策を伺う。</p> <p>(3) 教育・スポーツ・文化・芸術の充実について</p> <p>学校施設の中には老朽化が進み、地震等が発生した場合には甚大な被害が予想される。一刻も早く耐震化工事や建て替えを行い、安心できる環境を整える必要があると思うが、どのように進めていくのか。</p>				市長 教育長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
2. げんきとやすらぎのさとやま文化都市を実現するために	<p>写真・絵画 Week（賞金など）を設け、全国から注目される文化振興策を図ってはどうか。</p> <p>地域の風土や風習などの地域文化を掘り起こし、地域の活性化につなげるための施策を考えているか。</p> <p>（4）道路網の拡充</p> <p>住民が移動する主要幹線は、国道、県道だ。これらは合併支援道路としての整備要望が住民から強く出されている。市として早期完成に向けどのように取り組んでいくのか。</p> <p>（5）安心して暮らせるまち（少子高齢者対策）をつくるために</p> <p>庄原赤十字病院で産科が休診して5年が経過するが、再開の見通しが立っていない。産科に限らず、緊急時に医師を速やかに確保する体制をどのように構築していくのか。</p> <p>みずから移動手段を持たない人に対する生活交通の充実をどう行うのか。また、障害者や高齢者への配慮も必要だと考えるが、どのような施策を行うのか。</p> <p>（6）職員の資質向上</p> <p>各種の研修を行うことは、職員の資質向上、また公務員としての自覚を高めること</p>				市長 教育長

【代表質問】

順位	2	会派名	野の風	質問者	和田 満福
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
2. げんきとやすらぎのさとやま文化都市を実現するために	<p>に効果があると考える。職務についての専門性も求められており、研修機会の拡大が必要と思うが、どのような計画を持っているのか。</p> <p>市長が考えた施策を行う職員は、元気があるのはもちろん、やる気や情熱を持っていなければならない。職員の心と体のケアができる体制はきちんと整備されているのか。また、今以上に職員のやる気を起こさせるため、市長が職員を表彰する制度を導入するなど、環境整備や待遇を向上させる取り組みを考えているか。</p>				市長 教育長

【代表質問】

順位	3	会派名	市民の会	質問者	福山 権二
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
1. 行政運営の基本理念について	(1) 市長は、庄原市活性化のために、市民に積極的な行政参加を求めて、その原点に信頼される市政をあげている。市民に信頼される市政は、どのような行政内容で獲得されると考えているのか。 (2) 行政手法としての「公社設立」、「指定管理者制度導入」は、情報公開という行政の基本を貫徹させえない障害となっているが、市長の認識を伺う。				市長
2. 情報公開について	市長は、市政の運営に当たって情報公開の徹底が極めて重要であるとの認識を表明しているが、市政運営上、情報公開をどのように認識しているか。その基本的認識について伺う。				市長

【代表質問】

順位	4	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
1. 新年度予算・施政方針について	(1) 政府が、5日に閣議決定した地域主権改革一括法案と国と地方の協議の場設置法案は、福祉の最低基準を確保するための国の責任を投げ捨て地方に任せるなど、公共サービスの後退を招く危険がある。また、軍事費と大企業・大資産家減税という2つの聖域にメスを入れないと財源は確保できず、結局、消費税など庶民増税に頼らざるを得なくなる。こうした民主党政権の現状について、国からの財源に大きく依存する庄原市のトップとしての見解を問う。 (2) 普通交付税や臨時財政対策債の大幅増、第四次経済対策による22年度事業の前倒しなどで、一般財源は大幅に増えた。市民の生活が第一というのであれば、この財源を小泉構造改革路線や県の医療や福祉制度の後退による傷跡を元に戻すこと、中学校卒業までの医療費無料化の実現など市民の暮らしを支える独自施策にもっと使うべきではないか。 また、準義務的経費の物件費が年々増えている。委託料や臨時職員の賃金増が主な要因だ。将来を見据えた人事政策や保育所の指定管理者制度への移行も一定の見直しが必要ではないか。				市長

【代表質問】

順位	4	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
1. 新年度予算・施政方針について	(3) 平成22(2010)年までの核兵器廃絶をめざす「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が、今年5月のNPT再検討会議で採択されるよう平和市長会議で取り組まれている。今年も平和問題が施政方針にない。広島県内にある市の市長としてもっとイニシアチブを發揮すべきではないか。				市長
2. 行政財産の貸出しについて	市役所東城支所が、民間企業（信用金庫）に貸し出されるようだが、貸し出しの基本ルール、貸出先の公平な決定方法などが公表されていない。本来、市民の共有財産の処分のルールは、市民参加の審議会等で慎重に決めていくべき問題ではないのか。				市長

【代表質問】

順位	4	会派名	日本共産党	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を求める者
3. 地産地消、学校給食について	<p>学校給食の地産地消の現状と今後の推進対策はどのようにになっているのか。</p> <p>また、東城地域の学校給食の共同調理場化が促進されようとしているが、東城には自校給食の長い歴史がある。平成 17 (2005) 年 7 月に食育基本法が施行され、食育推進基本計画では、食育を進めるため「単独調理自校方式」が望ましく、自校方式の価値を見直すべきとの趣旨が書かれている。自校給食に取り組む自治体はたくさんあり、自校給食こそ促進すべきだと考えるが、見解を問う。</p>				教育長
4. 全国学力調査の問題	<p>全国学力テストの公式の目的は完全に破綻している。学力の把握は数%の抽出調査でわかることがばかりだ。政権交代で、新年度から「抽出方式」になった。本市は、抽出対象にならなかった小・中学校を自主参加させることにしたようだが、自主参加を決めた理由は何か。一斉テストで本当に学力がつくのか、どうしたら基礎学力がつくのか、考える時期ではないのか。見解を問う。</p>				教育長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 介護保険事業計画の推進状況の確認と推進について	<p>介護保険制度施行から 10 年を迎える。介護現場では深刻な問題が山積している。公明党は、全国 3,000 人を超える議員が一丸となって昨年 11 月から介護総点検を行い、10 万件を超える介護現場の貴重な声を聞くことができた。介護総点検を通じて浮き彫りになった多くの点について、本市としての見解を伺う。</p> <p>(1) 特別養護老人ホームなど、介護施設の待機者の実数把握はきちんとされているか。またその待機者解消策に向けて、実効性のある実施計画が策定されているか。</p> <p>(2) 特養ホームへの入居希望が多いが、なかなかでも利用料の負担が少ない多床室や、老・老介護や老・障介護に対応できる 2 床室の要望もある。介護施設の整備を行う上で、今後配慮すべき点であるが、見解と取り組みを伺う。</p> <p>(3) 有料老人ホーム、ケアハウスなどの特定施設の整備状況とともに、当該施設利用者の経済的負担の実態把握とその負担軽減策はどうなっているか。</p> <p>(4) 介護施設の中で老朽化している施設も見受けられる。施設・設備の改修について、ルール化が必要だ。公的支援に向けた基準づくりと具体的な取り組みを問う。</p>			市長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
2. 介護サービスの充実について	<p>地域で暮らせる環境を拡大するため、本市において小規模多機能施設の設置促進への取り組みをどう考えているか。</p> <p>また今後必要なサービスについては、どのように考えているか。</p>			市長
3. 介護事業者の駐車スペース確保について	<p>介護事業者が介護サービス提供のため、公道へ車両を駐車せざるを得ない場合がある。車両の駐車に関してどのような対策をとっているか。</p>			市長
4. 認知症を予防し、また介護予防で元気な高齢者をつくるための施策について	<p>(1) 介護予防策の拡充を図るべきである。 現在実施されている予防策の現状と課題、今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 閉じこもり、認知症予防対策に「回想法」、「音楽療法」、「園芸療法」など各種療法を積極的に導入すべきであると思うが、現状と今後の取り組みを伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
5. 介護家族や高齢者世帯等に対する相談体制について	<p>介護難民という言葉が生まれるほど、家族の介護をするために離職せざるを得なかった家族などがおられる。そうした介護家族へのきめ細かい相談業務はどうなっているか。</p> <p>また、独居高齢者、高齢世帯などの介護弱者に対しての相談業務はどうなっているか。</p>			市長
6. 在宅介護環境整備について	<p>介護総点検において、自宅で介護を受けている人のうち、困っていることは、介護する家族の負担が大きいがもっとも多かった。身体的・精神的負担の軽減の意味では、一時入所可能なグループホーム、また特養におけるショートステイ床数の確保などが必要と思うが、現状と見解を伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
7. 要介護認定のあり方について		(1) 介護保険申請から認定までの期間が長いため、早急にサービスを利用したい方が困っている。当市では調査・認定までにどれくらい時間がかかるか。 (2) 法の精神から言うと申請申し込み時点からサービスを受けられることになっているが、現状は何日後から介護サービスを受けられるのか。 市としてケアマネージャーによる聞き取り調査による仮認定でのサービス提供をどのように考えているか。 (3) 介護保険適用までの事務が煩雑で時間がかかりすぎている。事務を簡素化してスピーディーにし、すぐ使える制度に改善すべきだが、実態と改善に向けた取り組みを伺う。 (4) 介護保険制度のキーパーソンは、ケアマネージャーだ。処遇改善、人材育成、資質向上を図るとともに、もっと権限を与えるべきと思うが、現状と課題、今後の取り組みを伺う。		市長

順位	1	質問者	横路 政之	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
8. 女性のがん対策について		(1) 昨年10月より子宮がん・乳がん検診の無料クーポン券が対象者へ配布されている。現時点での受診状況はどうなっているか。また、がん検診率はどうなっているか。 (2) 若い女性に増え続ける子宮頸がんは、日本で年間約1万5,000人が発症し、約3,500人が亡くなると推計され、主な原因はヒトパピローマウイルスの感染と特定されている。定期的な検診と予防ワクチン接種の組み合わせで、ほぼ100%予防が可能な唯一のがんだ。昨年10月に厚生労働省が予防ワクチンを承認し、12月に発売がスタートした。しかし、接種費用が1回1万円以上で、3回の接種を必要とすることから、負担軽減のための公費助成が求められている。国に先んじて、ワクチン接種への公費助成を表明する自治体が全国に広がっているが、本市も女性の命を守る観点から公費助成を英断すべきと考えるが、考えを伺う。		市長

【個人質問】

順位	2	質問者	坂本 義明	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 保育行政の現状と将来についての方針	<p>(1) 公立保育所の存続について、すべて民営化にするのか。公立は残さないのか。 また、改修計画はどうなっているのか。</p> <p>(2) 保育料の未収額と件数はいくらか。 また、滞納者についての対処はどうしているのか。</p> <p>(3) 駐車場のない保育所、遊戯場のない保育所、人員の余裕のない保育所、場所入口（看板設置）の必要な保育所があると思われるが、この対応はどのようにするのか。</p>			市長
2. 観光行政の将来について	<p>(1) 平成24年度中に完成が予定されている中国横断自動車道尾道松江線の開通を見越して、庄原市の観光はどのようにリンクさせようとしているのか。 また、高野インター道の駅と周辺の取り組みはどのようにするのか。</p> <p>(2) さとやま観光について、さとやまの自然にあるものの有効利用と再確認をすべきと思うが、どうか。</p> <p>(3) 比和町にあるあけぼの荘の利用状況はどうか。 施設が老朽化してきているが、改修計画を含め、今後どのようにされるのか。</p>			市長

【個人質問】

順位	3	質問者	藤木 邦明	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 庄原保育所の 建て替えについて	<p>(1) 建て替え場所は、三日市町の 7,200 m² の土地を考えているようだが、国道 432 号線から南に入る市道の幅員は狭く、信号機、車道、歩道の整備をどう考えているのか。</p> <p>(2) 保育児の定員は、年齢ごとにそれぞれ何名程度を考えているのか。</p> <p>(3) 基本骨格は純鉄骨造りとしても、早めに地域木材を確保し、屋根、外壁、内壁、天井、床などは木造とし、窓は断熱性の高いペアガラス（網戸付）とし、完全冷暖房（3歳未満児の保育室は床暖房も）にして、子どもたちにも、環境にもやさしい保育所にすべきではないか。</p> <p>(4) 災害時に一番危険な3歳未満児の保育室は、今後は一階に設けるべきではないか。</p> <p>(5) 給食は、当然のことながら自園調理方式にし、地元産米によるご飯も含めた完全給食にすべきではないか。</p>			市長

【個人質問】

順位	3	質問者	藤木 邦明	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
2. 庄原保育所などの運営を民営化しようとしていることについて	(1) 当面、総領保育所、庄原保育所、下高保育所の運営を民営化しようとしているが、そのねらいは、保育士、調理員をすべて民間の職員に入れ替え、人件費を安く抑え、それで浮く予算の一部で、保育士、看護師、調理員を増員し、保護者の皆さんの切実な願いである、3歳未満児保育の充実、延長保育の充実などを行うと、保護者の願いを逆手にとり、民営化に同意を求めてい るようなものだ。しかし、将来の本市を担う子どもたちに必要な保育のためには、多少の予算増額は当然であり、削減対象とすべきではない。公営の保育所でも計画的な人事で、優秀な、経験の長い保育士、若い保育士、調理員をまんべんなく確保し、看護師も配置し、延長保育に多少の変則勤務、パート保育士などを導入するなど工夫して いけば、そんなに人件費を増額することなく、3歳未満児保育や延長保育の充実などの実現は可能であり、その方がより保育内容が充実し、雇用も安定するのではないか。 (2) 仮に庄原保育所の運営を民営化するとした場合でも、20名を超える優秀な、経験年数が長い保育士、若い保育士、調理員を単年度でまんべんなく確保することは、事実	市長		

【個人質問】

順位	3	質問者	藤木 邦明	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
2. 庄原保育所などの運営を民営化しようとしていることについて	<p>上、不可能ではないか。しかも、お互いが初顔合わせでは、保育の充実とはとてもいえないのではないか。</p> <p>(3) 保育所運営の民営化先は、それぞれ、どこを想定しているのか。</p> <p>指定管理による保育所運営の民営化は、同じ会社や社会福祉法人などが責任を持つのは最長でも5年間までの契約であり、その先の保障はないのではないか。</p> <p>これで安定して充実した保育を行うことができるのか。</p> <p>(4) 長い年月をかけて、庄原市の責任で、優秀な、経験年数の長い保育士、若い保育士、調理員を育ててきたものを、合併して、これからという時点で、多くの保育所で放棄することは、保育の充実に逆行するものであり、断じて、許されないのではないか。</p>		市長	
3. 薪ストーブ購入への助成金について	<p>ペレットストーブだけでなく、環境にやさしい薪ストーブ（二重燃焼するものなど）の購入にも、当然に助成金を出すべきではないか。</p>		市長	

【個人質問】

順位	4	質問者	田中 五郎		
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者	
1. 協働によるまちづくりについて	<p>「まちづくりは人づくり」</p> <p>(1) 行政の役割とそれを担う職員力をどう育てようとしているのか。</p> <p>(2) 住民の役割とそれを担う住民力（地域力）をどう育てようとしているのか。</p> <p>(3) 両者を結ぶ中間組織の役割が極めて重要と考えるが、それをどう育てようとしているのか。</p>				市長

【個人質問】

順位	5	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 農産物の販売支援について	<p>「農業でメシが食べられる」ための価格で農産物を販売するための方策を伺う。</p> <p>(1) 経営モデルを示しながら、こんな作物をこれだけつくってください。できたものは私どもが責任を持って販売していきます。といったような指導の役割を市が行う必要があるが、考えを伺う。</p> <p>(2) 安定した農業経営を続けていくためには、農産物の販売を市場だけに依存して市場価格に左右されるような経営だけでは、安定収入は難しい。そのため、ある程度地元産直での販売やそしてアンテナショップ・インショップでの販売が必要だと思うが、見解を伺う。</p>			市長
2. 産直市八木店の今後の展開について	<p>(1) 12月のリニューアルオープン後の毎月の売り上げはどうなっているのか。 また、22年度の売り上げ目標はいくらに設定しているのか。</p> <p>(2) 産直市の登録者は400名と聞いているが、何名ぐらいの方が常時出荷をされているのか。昨年の最高売り上げをされた方の金額と平均の売上高はいくらか。</p>			市長

【個人質問】

順位	5	質問者	徳永 泰臣	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
3. 主要地方道西城比和線の改良促進について	<p>主要地方道西城比和線は、比和町と西城町を結ぶ 21.9km の重要路線となっており、現在改良率 56.5% だが、合併後の市民の一体感の醸成や観光振興、あるいは市民の交流、市立西城市民病院の利用等、安心安全の確保等の面から、残事業部分である坊地工区 3.2km、黒谷上工区 1.5km について、今後の整備計画を伺う。</p> <p>また、県に対しての働きかけについて、考え方を伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	6	質問者	赤木 忠徳	
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を求める者	
1. 木材一環システムを構築し、地域経済活性化と雇用促進をめざして	<p>本市は、地元材を使用した住宅新築に対する助成、市庁舎への不燃木材の利用など、木材利用を促進している。また木質ペレット、リグニン等の木質バイオマス活用プロジェクトの先進的な取り組みをしているが、地元材が有効に使用される製材所や加工所もなく、校舎等への利用保障もないし、木質ペレットも製材所とセットにあるべきだ。これでは山元に利益還元までのシステムが構築されているとは言いがたく、森林従事者も減少している。</p> <p>(1) 庄原産材と認定でき、プレカット製材や県が特許を保有している木材圧密化技術を利用した内装材等の木材製材工場建設に向けた組織づくりはされているか。</p> <p>(2) 木製治山ダム、ウッドチップ舗装、木製看板、木製園芸用土、カーボンオフセットプリント、木製トレイ、木製遊具など多岐にわたる木材の利用促進を図るべきと考えるが、建設予定の校舎等の他、間伐材の利用の可能性と利用方法の各課の取り組みは。</p> <p>(3) 今後、林業関係従事者の育成方法はどのように考えているか。</p>		市長	

【個人質問】

順位	7	質問者	小谷 鶴義	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 地域振興基金の使い方	<p>地域振興基金は、平成 22 年度には約 36 億円になり、その運用収入も 3,400 万円ぐらい見込めると聞いた。</p> <p>工業団地への企業誘致等を考えれば、当然、通信環境として光ケーブルでつながっていないと企業は来ない。光ケーブルがある三次工業団地は、完売している。</p> <p>企業にとっては、光通信環境が入っていないと商売にならないという話を聞く。</p> <p>合併時の約束もあり、地域振興基金の使い方として、ケーブルテレビ等の再考をいただきたい。</p> <p>また、長期総合計画の中で平成 26 年～27 年には、防災無線化が約 28 億円で計画されているが、情報のあり方について伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	8	質問者	名越 峰壽	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 国際交流について	<p>(1) 中国綿陽市との友好提携についての目的と経緯及び 20 年間の成果と経費の累計を伺う。</p> <p>(2) 友好 20 周年記念事業の目的を伺う。</p>			市長
2. 庄原さとやま博について	<p>成功をさせるために、次のことについて伺う。</p> <p>(1) 実施に向けて予算獲得だけが先行しているが、具体的な目的及び方法と住民参加のイベントにするための方法を伺う。</p> <p>(2) 実施の体制について伺う。</p> <p>各町の観光協会への働きはどのようにするのか。</p> <p>(3) 観光地に対する補助金、支援金対策はどうのように考えているのか。</p>			市長

【個人質問】

順位	9	質問者	岡村 信吉	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 木質バイオマス関連事業について	<p>当市の持つ豊富な森林資源を有効活用した林業振興と山林環境の再生、さらには新産業創出による地域活性化をめざし、リグニン等の製造を行う民間企業誘致、また第三セクター方式による木質ペレット製造販売の事業化に取り組まれ、22年度、23年度事業開始の予定となっている。まさに時期を得た施策展開で評価すべきだし、また林業に携わる農家にとっても大きく期待できると考える。木質ペレット製造販売の事業に絞り、質問を行う。</p> <p>(1) ペレット製造販売は22年度から開始される。事業開始から5年間ぐらいの生産計画及び事業としての損益分岐点を伺う。</p> <p>(2) 事業量を増し、安定経営を継続するためには、ペレット需要拡大が大きな課題と考えるが、この方策について伺う。</p> <p>(3) 原料木材は市内山林のスギ・ヒノキ間伐が主体の計画であるが、この場合の山元への還元額はどのくらいを予定しているのか。</p> <p>(4) 豊富な森林資源を有効活用するこの事業は、必ず地域活性化につながると考える。事業、経営を行う第三セクター庄原さとやまペレット(株)の安定、経営を強く求めたいが、考えを伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	10	質問者	林 高正	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
1. 庄原市住宅基本計画について	<p>(1) 平成 20 年 3 月に「庄原市住宅基本計画」が策定された。その中の「市営住宅に係る問題点と配慮事項」に、「老朽な住宅が多く、これらの建て替え、改修等により、市営住宅の質の向上を図る必要がある」という記述がある。</p> <p>市営住宅ストック活用計画、(1) 計画期間中の活用計画(平成 20~27 年度)の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 市営住宅入居世帯主の年齢別割合は、70 歳以上が 26.7% で最も高く、60 歳以上の高齢の世帯主は、43.5% と高くなっている。種別にみると、公営住宅では 60 歳以上の割合が 54.0% と突出している。</p> <p>高齢者専用住宅を建設する必要を感じるが、建て替え事業計画がない。どのような対応を考えているのか。</p> <p>そして、今後の本市の公営住宅のあり方についての考え方を伺う。</p>			市長

【個人質問】

順位	10	質問者	林 高正	
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を求める者
2. 庄原さとやま博について	<p>庄原さとやま博の概要は、説明資料を読んでおぼろげながら理解したつもりだが、明確なものが見えないのも事実だ。</p> <p>疑問に感じている部分があるので伺う。</p> <p>実施体制の中の、共催・後援・協賛が、「実際に何をお願いするかよく検討して依頼する」とあるが、各地の「まち博」のコンセプトとは明らかに違う、観光にスポットをあてているのではないか。</p> <p>各地の「まち博」は、普段着の交流を主体にしたものと思うが、本市の場合は、住民主導とは思えず、無理があるのではないか。</p> <p>イベント期間が長すぎると思う。これほど長いと、いつ始まっていつ終わったのかという感じになるのではないか。初回は2カ月程度のものとし、ノウハウを蓄積すべきではないか。</p> <p>内容がてんこ盛り過ぎて、バラバラに思えて仕方ない。これが最終案とは思っていないので、再度、内容をもっとシンプルなものにしていただきたいが、どうか。</p>			市長